

高知県商工団体連合会 NO.817(50-1)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

高商連第50回定期総会開催



来賓のみなさんと県連三役

午後には、総会方針の提案と全商連、共済会、県婦協からの活動報告と交流を行い、方針、特別決議、決算・予算の承認、新役員を選出を行いました。

東谷勝喜会長あいさつに続き、来賓の広田一衆院議員、松本頼治氏(日本共産党、衆院1区予定候補)、田口朝光氏(高知憲法アクション、県労働委員長)から来賓あいさつをいただきました。

6月17日(日)、高商連第50回定期総会を、高知民商會館で開催しました。県下7民商から、第議員30名(出席率94%)、評議員7名が参加しました。議長に高橋常任理事(須崎)、高山常任理事(高知、共済会)が選出され、総会を進行しました。



新役員(二役) ○会長: 東谷勝喜(高知) ○副会長: 山崎龍太郎(香美郡)、加藤憲一郎(香美郡)、山西秀幸(南国)、矢野昭雄(高知) ○会計: 山崎有子(高知) ○事務局長: 入江博孝(高知)

東谷勝喜会長のあいさつ

おはようございます。

総会参加の皆さん、多忙な日曜日に意識高く、総会への参加ご苦労様です。

昨年に続きまして来賓の広田一衆院議員、田口県労働委員長、松本共産党衆議院一区候補にもおいでいただきました。ご多用の中有難うございます。

3名の来賓の方からはそれぞれの立場で情勢などお言葉をいただけたと思っております。私からは一つ二つ簡単にふれておきます。

一つは、先週シンガポールでの歴史的な米朝トップ会談がありました。いろんな見方はあっても会談は良かったと思えますが、何しろ変わり身も早く、したたかな2人。今後の方向を冷静に注視していく

必要があります。

二つは、1年以上も続く森友・加計疑惑です。安倍一強と言われる中、いまだ与党からは国民の疑念を晴らす声はあがらず、官僚も巻き込んだ「忘れた」嘘で通す、忖度政治。残念です。

私たちの年代の者は、小さい頃から「嘘つきは泥棒の始まり」と親から言われて育った世代です。疑念の真相解明もないまま、今後の対策などというのは茶番です。早く正常な国会運営を望みます。トップの首相安倍、ナンバー2の財務大臣麻生、二代目・坊ちゃん議員がダメとは言いませんが、各国のリーダーがしたたかな今、2人で大丈夫かとの声も聞きます。もう交代の時期ではないでしょうか。

さて、5月26日、27日に全商連第53回定期総会、28日に第25回全商連共済会定期総会が新潟で開催されました。全商連総会のスローガン「改憲、大増税阻止・共同の時代を切り開く、強く大きな民商・全商連を」。両総会には高知県から

代議員・評議員合わせて13名が参加。初参加者は3名でした。全員が商工新聞読者を増やして参加しました。家族の理解と各民商の支えがあった参加です。全国の仲間の進んだ教訓、刺激を今後の運動に生かしていきましょう。 四国4県では今年、読者・会員・共済・婦人・青年の5課題で申告期の3月31日までを前

総会で確認した2つの「特別決議」

6月18日に、両氏に送付しました。

安倍晋三内閣総理大臣 殿

安倍内閣総辞職を求めます

森友・加計学園疑惑、政府あげての情報隠ぺいや虚偽答弁、文書の改ざん、セクハラ問題、幹部自衛官の国会議員への暴言が相次いで発覚し、国民と国会を欺き、民主主義をないがしろにする暴走政治に対し、私たちは強い怒りを表明します。

「ウミを出し切る」と言いながら、新たな文書が出てくるなど、政権の隠ぺいが今なお続いています。

国民と国会を欺いてきた安倍内閣の総辞職を求めます。

麻生太郎財務大臣 殿

麻生大臣の辞任を求めます

「セクハラ罪という罪はない」、「白を黒にしたような改ざん」といった悪質なものではないなどと、セクハラ行為、文書改ざんを容認する姿勢に断固抗議します。

また、公文書を改ざんした理由について、「それがわかれば苦勞せん」などと、責任者、当事者としてあるまじき発言です。

国民と国会を欺いてきたことへの反省も全くなく、政府の要職・財務省のトップとして、問題解決の能力も資格もない貴殿は、

期、全商連総会までを後期と位置づけ拡大競争をしました。 増やすことと関連して話は変わりますが、昨年の衆議院選挙前に広田議員は2万人と訪問・対話したとの記事を読みました。選挙では2万票以上の差で圧勝したわけですが、動くこと、行動の大切さを学びたいと思います。後は魂をに入れて増やしてほしいと会員・事務局の協力・参加で成果会員作りにこだわり、多くの行動、成果者、新聞を増やし、期だけだけでなく、年間を通じて全県を引っ張るなど、全民意識しましょう。 本日の総会が活発な討議商が奮闘しました。その結果、中村民商・須崎民商・香美郡民で、進んだ活動に学び団結し商・安芸民商が会員比15%の力での挨拶とさせていただきます。